

お役立ち情報

都の取組を知りたい

東京都後発医薬品
安心使用促進事業
ホームページ



国の取組を知りたい

後発医薬品
(ジェネリック医薬品)及び
バイオ後続品(バイオシミラー)の
使用促進について(厚生労働省)



ジェネリック等くすり相談をしたい

PMDAくすり相談窓口

03-3506-9425

月曜日から金曜日(祝日・年末年始を除く)
午前9時から午後5時



医師又は薬剤師に お気軽に ご相談ください。

ジェネリック医薬品への切り替えに不安があるときは、薬剤師と相談し、必要な情報を得ることで解消できることもあります。お薬手帳があると、相談もスムーズです。効果や体調に違和感があれば、元のお薬に戻すことも可能です。

ただし、すべてのお薬にジェネリックがあるわけではなく、体質や病状によっては変更できない場合もあります。無理に切り替える必要はありませんので、ご自身に合ったお薬を選ぶためにも、医師又は薬剤師に相談してみましょう。

リフィル処方箋

を知っていますか？

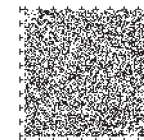
リフィル処方箋は、1通で最大3回まで繰り返し使える処方箋です。リフィル処方箋は、症状が安定している患者さんのみが対象で、医師の判断により処方されます。リフィル処方箋を希望される場合には、まずは、かかりつけの医師に相談してみましょう。



あなたの健康と
未来の医療費を守る

ジェネリック という選択

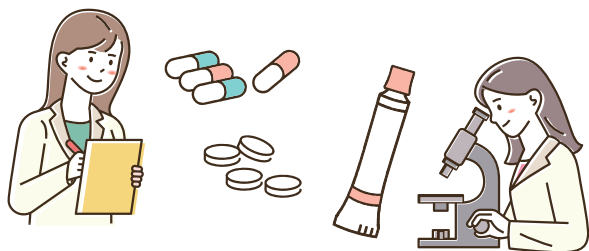
ジェネリック医薬品への切替のご案内



品質も安心も しっかり保証された お薬です

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、先発医薬品の特許終了後に、品質・有効性・安全性が同等であるものとして、国が認めたお薬です。

薬の大きさや味・におい等に工夫が施され、飲みやすさや使用感が改良されたものもあります。



バイオ後続品

を知っていますか？

バイオ後続品(バイオシミラー)というお薬は、がんや免疫の病気などに使われる先行バイオ医薬品と呼ばれる特殊なお薬の後続品で、先行バイオ医薬品と同等、同質の品質、安全性、有効性を持っています。

ジェネリック医薬品で 医療費の負担が 軽くなることも

ジェネリック医薬品は、先発医薬品よりも新たな研究開発にかかる費用が少ないため、先発品に比べて概ね価格が低く設定されているので、ほとんどの場合は患者さんの医療費負担の軽減につながります。

令和6年10月から、患者さんがジェネリック医薬品がある先発医薬品(長期収載品)の処方を希望するときに、「選定療養費」として特別の料金をお支払いいただく制度が始まりました。これを機会に、後発医薬品の使用をご検討ください。

※先発医薬品を処方する医療上の必要があると認められる場合や、医療機関や薬局にジェネリック医薬品の在庫がない場合には、特別の料金はかかりません。



お薬の選び方が 医療の未来に つながります

日本の医療費は増加傾向にあります。この医療費の多くは、私たちが支払う保険料によってまかなわれており、負担の増加が続いています。

ジェネリック医薬品を使用することで、患者さんのお薬代の負担が軽減されるだけでなく、医療保険制度全体の支出も抑えることができます。こうした取組は、保険料の上昇を抑えることにもつながり、保険料による負担を少しでも軽くすることが期待されています。

先発医薬品

※令和6年10月以降、医療上の必要性がある場合

保険給付

患者負担

ジェネリック 医薬品

保険給付

患者負担

先発医薬品と
ジェネリック
医薬品の価格差

